

第5回 部会検討結果報告書（生活・環境部会）

| | | | | |
|-------------|------------------------------|-------|-----------------|-------|
| 記録者 | 田口 彩子 | 場所 | 市役所北庁舎第1・2・3会議室 | |
| 開催日時・場所 | 平成28年9月24日(土) 午前10時00分 ~ 12時 | | | |
| 出席者 (9名) | 金子 崇裕 | 金子 弘 | 設楽 厚子 | 高野 茂久 |
| | 萩原 奈美 | 横山 龍男 | 安藤 英幸 | 田口 彩子 |
| | 宮坂 啓介 | | | |
| | | | | |
| 傍聴者 | 0名 | | | |

| | |
|-------|---------|
| 基本施策名 | 生活環境の保全 |
|-------|---------|

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもやお年寄りを対象とした安全教室の実施 ・企業も含めた計画が必要 ・安全マップを作成し、PRを行う ・住宅地での自転車道を明示する |
|---|

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

- ・公共建築物に対する太陽光発電の設置の検討
- ・市内の各公共建築物の修繕について優先順位を設けて実施をするべき
- ・ジカ熱対策として蚊やハエの発生防止活動と近年マダニが発生している為対策を検討する
- ・蚊等が発生し難い植栽の種類を検討する
- ・所有者の不明な空き家を、NPOや企業で有効利用をする方法を検討できないか
- ・空き家対策で、近隣住民ができる範囲での連絡方法を周知する
- ・近隣の空き家についての公的な相談先を周知する
- ・市民聖苑について長期修繕計画の定期的な見直し時期を決めておく
- ・近年家族葬が増えているので、市民聖苑にも対応できる施設を作る
- ・稲城・府中メモリアルパークについて、応募数が少ない場合販売価格を下げてでも販売したほうがよいのではないかと
- ・喫煙禁止・環境美化推進地区について高校生・大学生に向けてPRするべき
- ・環境に関する情報の周知
- ・街路樹の高さをもっと低くして、市内の統一感を出してはどうか
- ・環境保全の啓発事業として子供新聞を発行し、駅前の新しい再開発ビルで発表する場を設ける
- ・市が行った騒音調査等と市民の調査の結果の差異を調べる体制作りが必要
- ・騒音の苦情について、お祭りや消防団の出動等の地域活動に対する苦情が多いと思うが、新しく市内に転居してきた方は地域にどのような活動が行われているか知る機会が少ない為理解してもらえていないのではないかと。地域行事を説明する場を設けたり、広報紙へ行事予定を掲載することで理解が深まるのでは。また、建物を販売する際に事業主へ府中市はどのような地域性があるか購入者へ説明を行う義務を課すことを検討できないか。

協働の実践に向けて（オ）について

- ・空き家対策について、各自治会の活動の中で空き家の調査に特化した活動を推進する
- ・「環境の維持は住民から」の精神を周知する
- ・環境保全活動を行う地域のボランティアを養成する
- ・オリンピック・パラリンピックのボランティアを大々的に募集する

第5回 部会検討結果報告書（生活・環境部会）

| | | | | |
|-------------|------------------------------|-------|-----------------|-------|
| 記録者 | 田口 彩子 | 場所 | 市役所北庁舎第1・2・3会議室 | |
| 開催日時・場所 | 平成28年9月24日（土） 午前10時00分 ~ 12時 | | | |
| 出席者 （9名） | 金子 崇裕 | 金子 弘 | 設楽 厚子 | 高野 茂久 |
| | 萩原 奈美 | 横山 龍男 | 安藤 英幸 | 田口 彩子 |
| | 宮坂 啓介 | | | |
| | | | | |
| 傍聴者 | 0名 | | | |

| | |
|-------|----------|
| 基本施策名 | 循環型社会の形成 |
|-------|----------|

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

| |
|--|
| |
|--|

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

- ・若い世代や自治会に入っていない人へのゴミ減量化・資源化への理解の推進を図る
- ・小学生へ資源問題について地域の教育サポーターを活用するなどして、指導をする必要がある
- ・買い物の際に容器を持参した場合のポイント付与や割引等を行い、プラスチック容器を減らす方法を検討する必要がある
- ・市内への焼却場の設置や、地域ごとに小規模な処分場の設置を検討できないか
- ・各家庭へ生ごみ処理機（ディスポージャー）の設置を推進し、設置に対する補助金の増額を検討
- ・生ごみの量を減らすための水切りネットの配布キャンペーンの推進が必要

協働の実践に向けて（オ）について

- ・子供向けの祭りなどで、小学生にリサイクルショップの運営を体験させ意識啓発を図る
- ・家庭でごみの分別を主に行う主婦（主夫）への意識啓発を行う方法を検討する